

対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小西 裕司			実務 経験	有	職種	柔道整復師				

授業概要

健康に生活する上で必要な知識と情報を学びます。

到達目標

柔道整復師が予防と健康増進にいかにかかわることができるかを各項目ごとに学ぶ。予防指導は、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術であり、学ぶ内容としては環境衛生、感染症予防、健康教育、医療・看護サービスによる疾病の早期診断と悪化防止、衛生行政、医療制度および社会保障などを重視しながら進める。

授業方法

教科書と最新の衛生統計を中心に授業を進めることが基本となる。特に疫学的統計では、国民の生活習慣がその結果を大きく左右することから、最新の動向を注意深く見守る必要がある。医療は日進月歩であり健康の維持・増進のために柔道整復師として必要な最新データの把握に努める。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

使用教科書「衛生学・公衆衛生学」、その項目ごとに必要な資料をプリントとして配付する。

回数	授業計画
第1回	細菌感染症①（黄色ブドウ球菌・サルモネラ菌など）
第2回	細菌感染症②（嫌気性芽胞筋）
第3回	細菌感染症③（抗酸菌感染症）

第4回	細菌感染症④（クラミジア・リケッチア・スピロヘータ）
第5回	原虫・寄生虫・真菌感染症（垂直感染・日和見感染）
第6回	感染症予防対策（1類～5類感染症）
第7回	予防接種法（ワクチンの種類など）
第8回	消毒（理学的消毒法）
第9回	消毒（化学的消毒法①高水準消毒薬）
第10回	消毒（化学的消毒法②中水準消毒薬）
第11回	消毒（化学的消毒法③低水準消毒薬）
第12回	消毒法の応用（院内感染対策と消毒）
第13回	環境衛生（地球環境問題・人口爆発～資源の枯渇）
第14回	環境衛生（地球環境問題・熱帯林の消失～オゾン層破壊）
第15回	まとめ